



上田薬剤師会 発

薬剤師の

ちょっと薬に立つお話

YAKUNI
TATSU
OHANASHI
VOL.86

Vol.86

地域の皆さんの健康のために
さまざまな活動をしている
上田薬剤師会から、
健やかな毎日をつくるために
ちょっと役立つお話を
お届けしていきます。

毎月「第2土曜日」の
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!

今月のTOPICS

薬の副作用



薬を飲むと、症状が改善される一方で、眠くなったり口が乾いたりすることがありますよね。薬はさまざまな作用を持っていて、必要とところに効果的に働くだけでなく、他にも影響を与えることがあります。この「薬の副作用」について、薬剤師の山極規恭さんに聞きました。

副作用が起こる原因はさまざまです

薬の性質によって

治療する目的とは違う部位で効いてしまったり、目的以外の効果が出てしまうことがあります。

例 胃腸薬を飲むとのがが渇く(副交感神経に作用するため)、アレルギーの薬で眠くなる(抗ヒスタミンによる作用)など。

薬の使い方によって

飲む時間や間隔、量などの間違いや生活習慣、他の薬・食品などの飲み合わせなどによって、目的と異なる作用が発生することがあります。

例 降圧剤(一部)をグレープフルーツジュースで飲むと血中濃度が上昇する、解熱鎮痛薬と飲酒で肝臓障害のリスクが増加するなど。

患者さんの体質によって

薬によってアレルギーを起こす人がいます。中には、非常にまれですが、アナフィラキシーショックを起こす人も(年間数百例)。総合かぜ薬など市販の薬でも起こることがあります。

患者さんの状態によって

体調がよくないなどその時々病状によって、薬の影響を受けやすくなる場合があります。
*薬を分解、排泄する力が弱くなっている人は副作用が起きやすくなります。

副作用に特に注意が必要な人

- アレルギーのある人
- 過去にひどい副作用を経験した人
- 他にも薬を飲んでいる人
- 腎臓や肝臓(薬の分解や排泄にかかわる臓器)に疾患がある人
- 妊娠や授乳中の女性
- 高齢者 など

副作用を防ぐために

! 薬の作用、病気に対する薬の必要性を理解しましょう

医師は、薬の効果と副作用の可能性を慎重に考慮して薬を処方しており、場合によっては副作用よりも薬の効果を優先して処方することもあります。あらかじめ自分の病気や薬の副作用について医師や薬剤師から説明を受け、理解しておきましょう。

! 薬の副作用についてよく理解しましょう

どんな副作用が起こる可能性があるのか、少し様子をみても大丈夫なものか、緊急の対応が必要なものかなど、副作用の対処法も事前に知っておきましょう。

! 薬を正しく飲みましょう

飲む量、時間、飲み合わせ、生活上の注意点などよく理解し、正しく飲みましょう。

! いつもと違う症状や気になることが発生したら、医師・薬剤師に相談しましょう

自分の判断で薬の服用を中止したり、量を加減したりすると、かえって病気を悪化させることがあります。

! かかりつけ薬剤師・薬局を持ちましょう

かかりつけ薬剤師・薬局があれば、さまざまなことに配慮のうえ、薬を正しく飲むサポートを受けられます。困ったとき、不安なときにも気軽に相談できるので安心です。お薬手帳を持つことも重要です。

医薬品副作用救済制度について

薬は正しく使っていても、副作用の発生を防げない場合があります。適正使用にもかかわらず入院治療が必要となるような重篤な健康被害が起きた場合、医療費や年金などの給付を行う制度があります。独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)が給付を行っています。

<https://www.pmda.go.jp/>

特集

知ってるほど!

薬の名前

薬の名前は、開発した製薬会社が厚生労働省へ申請し、認可されて使用が可能になります。メーカーそれぞれの思いが込められた薬の名前。いくつかその興味深い由来を紹介します。

※諸説あります

解熱鎮痛薬

- **ロキソニン** …… 主要成分「ロキソプロフェンナトリウム」に由来。
- **イブ** …… 主要成分「イブプロフェン」に由来。
- **バファリン** …… 緩和するという意味のBuffer(バッファ)とアセチルサリチル酸の別名であるAspirin(アスピリン)を組み合わせたBuffered Aspirin(バッファアスピリン)⇒バファリン
- **アンヒバ** …… 解熱を意味する anti-(反対) fever(熱)(子供用の熱さましの坐薬)
- **カロナール** …… 「熱や痛みがとれて軽く、楽になる」
- **ノーシン** …… 「脳」が「シーン」となる

胃薬

- **ガスター Gaster** …… Gastric Ulcer「胃潰瘍を治療する」などの意味
- **キャベジン** …… 有効成分のMMSC(メチルメチオニンスルホニウムクロリド)が発見されたキャベツ(cabbage)に由来。その中に含まれる成分だから、cabbage in=キャベツジン。

アレルギー薬

- **アレロック** …… 「アレルギー症状」を「ブロック」する
- **クラリチン** …… 明快、清澄等を意味する clarity(clearの名詞形)から命名

また、薬の名前の後ろにアルファベットがついているものもあり、薬の特徴がわかる場合もあります。

- **LA** …… Long-Active 効果が長く続くという意味(例:ミケランLA)
- **CR** …… Controlled-Release 成分の放出をコントロールするという意味(例:ニフェジピンCR錠 アダラートCR錠)
- **OD** …… Oral-Disintegrating 口の中で崩壊(溶ける)という意味(例:ランソプラゾールOD錠、タケプロンOD錠)

はい、お答えします!

Q. 粉薬を飲むのが苦手です。処方された薬を錠剤に変えてもらうことは可能なのでしょうか。(上田市常入 48歳 女性)

A. 薬剤師が、処方された医師の了解を得れば変更できる場合があります。患者さんが服用しやすい方法を一緒に考えますので、まずは薬剤師にお気軽にご相談ください。また、かかりつけ薬剤師・薬局であれば、患者さんが服用できない薬などは必ず記録しておりますので、さらに迅速な対応ができます。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先
ハガキ 〒386-0012 上田市中央6-3-41
週刊うえだ「はい、お答えします!」係
メール weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp
FAX 0268-22-6201

詳細はかかりつけ薬剤師・薬局に
お気軽にご相談ください!

◀上田薬剤師会「認定基準薬局」の目印、グリーンクロス看板

